

NEWSLETTER まわしん



那覇市民児連

第27号 2025年10月

発行:真和志第三民生委員児童委員協議会会長

E-mail: mawashi33@outlook.jp

「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい運動募金」が始まります

「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい運動募金」運動は、那覇市内や沖縄県内の生活課題や地域課題を解決するため、昭和27年から毎年実施されています。那覇市での主な使い道は、「ふれあいいいききサロン事業」「様々な悩みを抱える人たちを支援する活動」や「支えあえる地域づくり」を進めている団体へ、集まった募金を配分しその活動を応援しています。



さらに、社会福祉施設の改修や設備整備、在宅高齢者、障害者支援など市域福祉の推進に役立てられます。毎年10月1日～31日までの間、市内各地において赤い羽根共同募金の街頭募金が実施されます。

真和志第3民児協では、10月1日(水)午後1時～2時、サンエーメインプレス東口で街頭募金を実施します。また、識名児童館に通う子供達も同日午後4時半～5時半に「サンエーV21 食品館 繁多川店」で街頭募金を実施します。お見かけした際は、ご協力をお願いいたします



那覇市での使い道は下記HPに掲載されています。

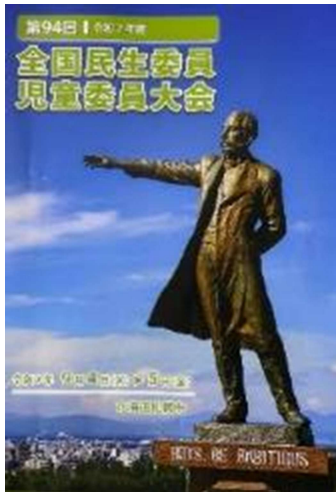
那覇市共同募金委員会
那覇市社会福祉協議会
(nahasyakyo.org)

9月の活動報告

- 9/3(水) 識名小学校放課後子ども教室開校 14:30～17:30 謝花, 新垣
- 4～5 第94回全国民生委員児童委員大会(札幌大会) 金城
- 4～6 旧盆
- 10(水) 定例会 繁多川公民館 18:30～20:00
- 17(水) 会長連絡会 なは市民協働プラザ 14:00～16:00
- 22(月) 地域福祉部会研修 ともかぜ振興会館 14:00～16:00
- 24(水) 役員会 識名小地域連携室 13:30～14:30

10月の予定

- 10/1(水) 赤い羽根共同募金活動 サンエーメインプレス 13:00～14:00
- 8(水) 県営第一上間市街地住宅「ゆんたくサロン」開所式 10:00～10:30 金城、森
- 定例会 真地公民館 14:00～14:45
- 講演会:「こころの健康出前講座」 14:50～15:50、天久台病院看護部長、上里忠仁氏
- 10(金) 那覇市福祉大会、見守りフォーラム 10:30～16:00 ともかぜ振興会館
- 15(水) 会長連絡会 なは市民協働プラザ 14:00～16:00
- 22(水) 役員会 識名小地域連携室 13:30～14:30
- 27(月) 那覇市民生委員児童委員大会 13:30～16:15 ともかぜ振興会館
- 29(水) 沖縄県社会福祉大会 13:30～16:30 コンベンションセンター劇場棟



大会配布資料表紙



参加証

1. 大会概要

大会名: 第94回全国民生委員児童委員大会 北海道大会

開催日時: 令和7年9月4日～5日

開催場所: 北海道立総合体育センター, 札幌コンベンションセンター

	11:30	12:30	13:00	14:20	15:20	15:40	16:00
9/4 (木)	受付	オープニング	式典・表彰	特別講義	大会宣言他	アトラクション	
9/5 (金)	9:00	9:30	12:30				
	受付	活動交流集会 シンポジウム					

主催: 全国民児連, 北海道民児連, 札幌市民児協他

参加人数: 約4,200名(沖縄県56名, 那覇市10名)

2. 【特別講義】

演題: 「なぜ人と人は支え合うのか」

講師: 渡辺 一史氏 (ノンフィクションライター、代表作: こんな夜更けにバナナかよ)

1990年代障がい者支援法などが未整備の時代, 自立生活を希望し, それを実践した筋ジストロフィー当事者と, 24時間体制で支える介助ボランティアとの交流・葛藤を通して, ボランティアとは何か 支援とは? など様々なことを提起。

3. 参加を通じての所感

全国の民生委員児童委員関係者ならびに県内他市町村の委員と交流し, 多くの刺激を受け大変有意義な時間となった。

現場では, これまで以上に課題が複雑化している。例えば, 子どもの貧困対策は, その保護者を含めたケアを抜きにしては進められないなど, 総合的な支援体制が長期に渡って必要なる。このため, チーム制による対応を視野に議論していくことが重要であると感じた。

「識名小学校放課後子ども教室」を開設しました。

放課後の子供たちの安全安心な活動拠点を確保することを目的とする, 文科省事業を活用した「識名小学校放課後子ども教室」を9月から開始しました。那覇市教育委員会生涯学習課と連携しながら, 毎月水曜日(第2と学校休業日は除く)の午後3時から5時まで, 地域連携室にて学習支援を行っています。夏休み明けの始業日に生徒募集を行い, 10月1日現在, 1年生から5年生まで18名の児童が登録しています。



ご存じですか 献血年齢基準

「献血」とは, 皆さんご存じのように, 病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者さんのために, 自分の血液を自発的かつ無償で提供することです。

全血/成分とも, 献血ができる年齢は69歳までとなっています(成分献血は女性のみ54歳まで)。ただし, 60歳から64歳までの間に1度でも献血を行っていないと, 65歳以上での献血はできません。ご注意ください。

※久茂地献血ルーム(864-0368)は土日も業務を行っています。

採血の種類	全血採血		成分採血	
	200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量	200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16～69歳	男性: 17～69歳 女性: 18～69歳	18～69歳	男性: 18～69歳 女性: 18～54歳
ただし, 65～69歳の方については, 60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた方に限る。				